

中央アフリカ共和国
母子保健強化・疾病対策計画
(子供の福祉無償)
簡易機材案件調査報告書

平成13年3月

国際協力事業団

- 目次 -

序文
位置図
写真
略語集
要約

	ページ
第1章 プロジェクトの背景・経緯	1
1-1 当該セクターの現状と課題	1
1-1-1. 現状と課題	1
1-1-2. 開発計画	3
1-1-3. 社会開発状況	4
1-2 無償資金協力要請の背景・経緯および概要	5
1-3 我が国の援助動向	5
1-4 他ドナーの援助動向	6
1-4-1. マラリア対策分野	8
1-4-2. 結核対策分野	8
1-4-3. 予防接種対策	9
1-4-4. 母子保健強化	9
第2章 プロジェクトを取り巻く状況	10
2-1 プロジェクトの実施体制	10
2-1-1. 組織・人員	10
2-1-2. 財政・予算	11
2-1-3. 技術水準	12
2-1-4. 既存の施設・機材	12
2-2 プロジェクト・サイトおよび周辺の状況	14
2-2-1. 関連インフラの整備状況	14
2-2-2. 自然状況	14
2-2-3. その他	15
第3章 プロジェクトの内容	16
3-1 プロジェクトの概要	16
3-2 協力対象事業の基本方針	16
3-2-1 設計方針	16
3-2-2 基本計画	19
3-2-3. 調達計画	26
3-2-3-1. 調達方針	26
3-2-3-2. 調達上の留意点	26
3-2-3-3. 調達・据付区分	26
3-2-3-4. 調達監理計画	41
3-2-3-5. ソフトコンポーネント	41
3-2-3-6. 実施工程	41
3-3 相手国側負担事業の概要	42
3-4 プロジェクトの運営・維持管理計画	43
3-5 プロジェクトの概算事業費	43
3-5-1. 協力対象事業の概算事業費	43
3-5-2. 運営・維持管理費	44
3-6 協力対象事業実施に当たっての留意事項	44

第4章 プロジェクトの妥当性の検証 -----	46
4.1 プロジェクトの効果 -----	46
4-1-1. マラリア対策分野 -----	46
4-1-2. 結核対策分野 -----	46
4-1-3. 予防接種対策分野 -----	46
4-1-4. 母子保健強化分野 -----	46
4.2 課題・提言 -----	47
4.3 プロジェクトの妥当性および結論 -----	47

添付資料

- 資料-1 調査団員・氏名
- 資料-2 調査工程
- 資料-3 関係者リスト
- 資料-4 「中ア」国の社会・経済事情
- 資料-5 討議議事録
- 資料-6 入手資料

序文

日本国政府は、中央アフリカ共和国政府の要請に基づき、同国の母子保健強化・疾病対策計画（子供の福祉無償）にかかる簡易機材案件調査を行う事を決定し、国際協力事業団が財団法人日本国際協力システムとの契約によりこの調査を実施しました。

当事業団は、平成12年10月14日から11月15日まで簡易機材案件調査団を現地に派遣いたしました。

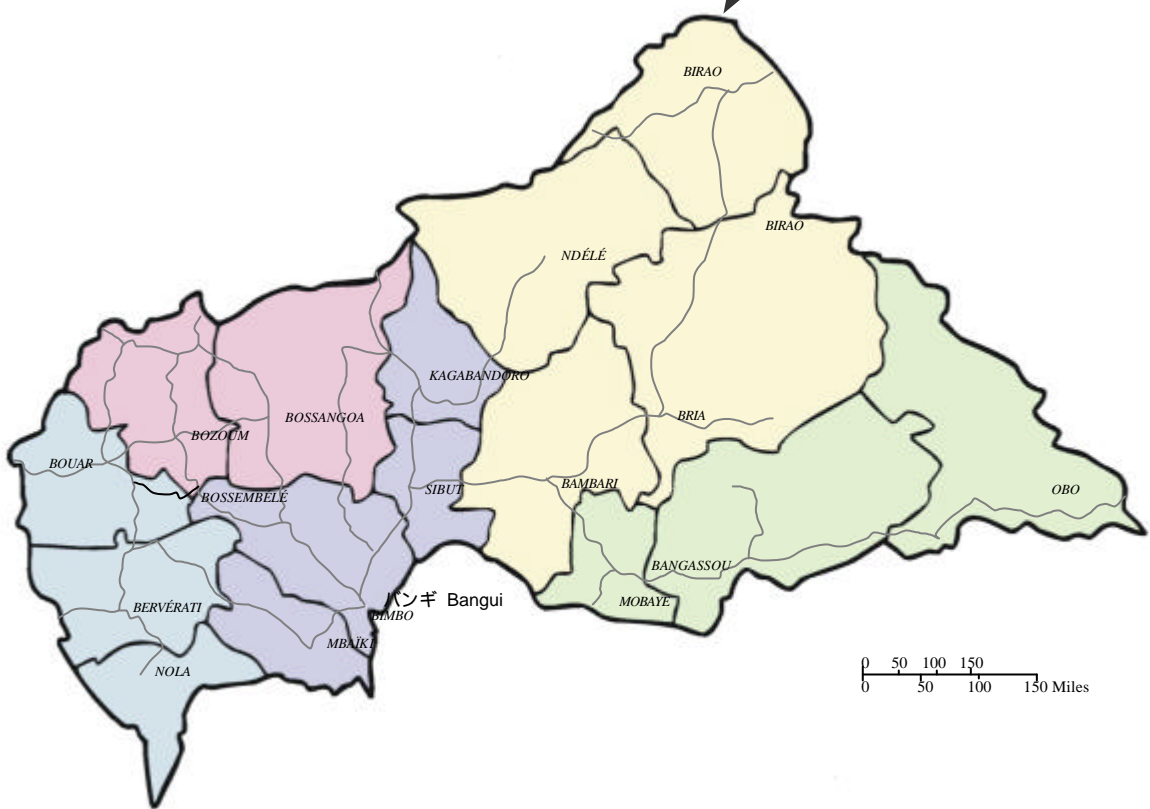
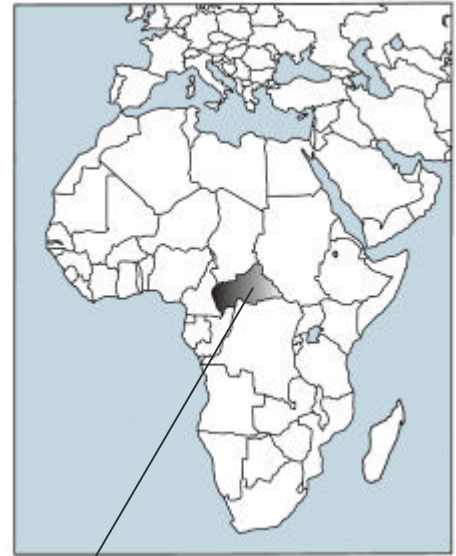
調査団は、中央アフリカ共和国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つ事を願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成13年3月

国際協力事業団
総裁 斉藤邦彦



保健行政区

グフィピンギ
GFIBINGUI

ケモグリピンギ
KEMO - GRIBINGUI

オンベラムボコ
OMBELLA - MPOKO

ロバイエ
LOBAYE

保健行政区

サンガ
SANGHA

オートサンガ
HAUTE - SANGHA

ナナムベレ
NANAMBERE

保健行政区

オウハムペンデ
OUHAM - PENDE

オウハム
OUHAM

保健行政区

バミンギ・バンゴラン
BAMINGUI - BANGORAN

ヴァカガ
VAKAGA

オウカ
OUAKA

オートコット
HAUTE KOTTO

保健行政区

バスコット
BASSE - KOTTO

ムボモウ
MBOMOU

オート・ムボモウ
HAUT - MBOMOU

中央アフリカ共和国全体図



写真-1 Mbaiki県病院の外観
平均日に30人ほどの外来患者が訪れる。

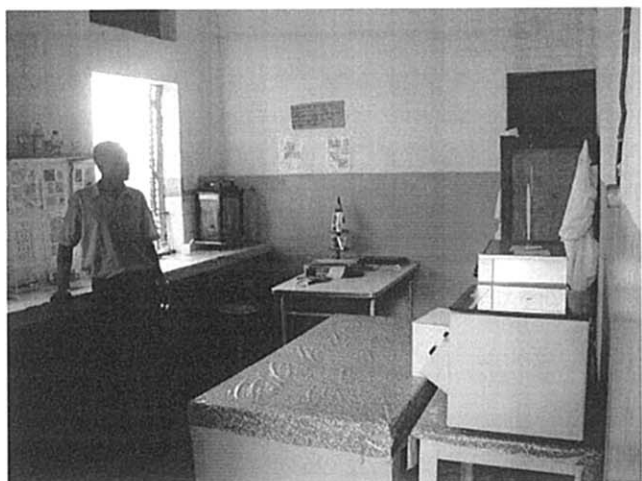


写真-2 Mbaiki県病院の臨床検査室
比較的「中ア」国内の医療施設としては、整理整頓がなされている。
特に試薬等が不足している。

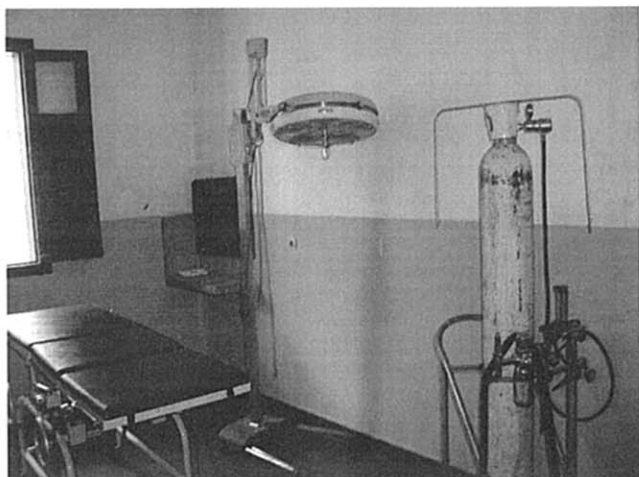


写真-3 Mbaiki県病院の手術室
夕方18:00～22:00のみ公共配電があるのみで、緊急の手術(発電機
)以外は電気系統器具の使用は制限されている。



写真-4 Mbaiki県病院で使われている手術器具
殺菌および滅菌が十分ではない。整理を行えるような器具棚もない
ため、乱雑に置かれている。

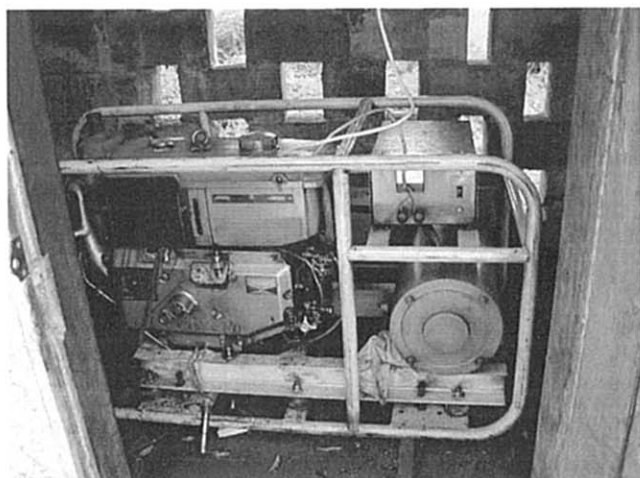


写真-5 Mbaiki病院の発電機
これ一つで病院全体をカバーしている。運転費用の不足もあり、緊
急の手術以外は稼働していない。

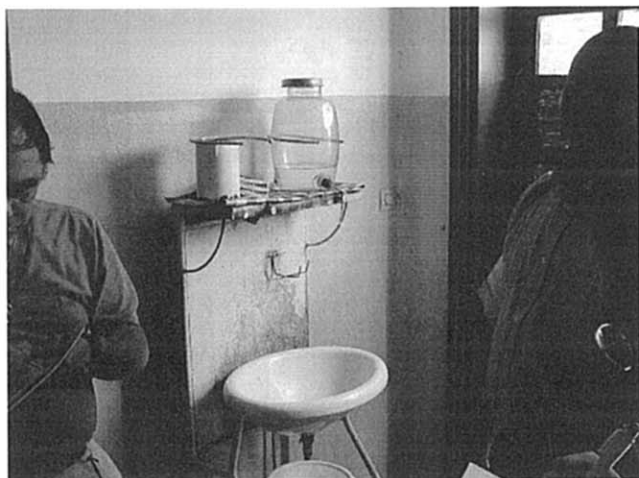


写真-6 Mbaiki病院内の配水システム
公共水道が病院内に通じていないため、近くの井戸水をため置き、
使用している。

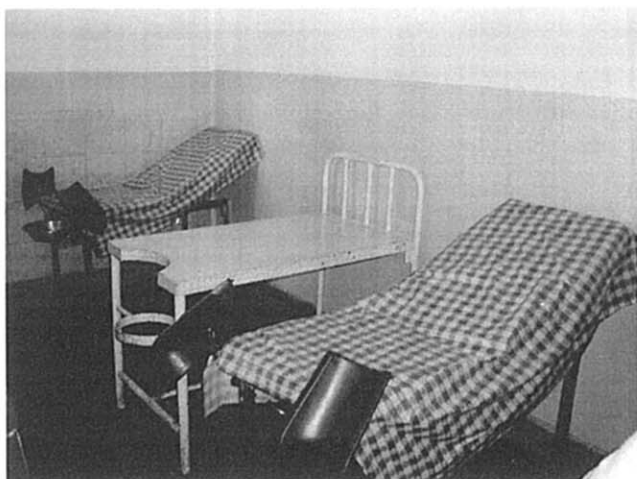


写真-7 Mbaiki県病院の分娩台①
同病院に2台ある。



写真-8 Mbaiki県病院の分娩台②
2ヶ月前に保健省より調達されたものであるが、輸送途中ですでに破損している。

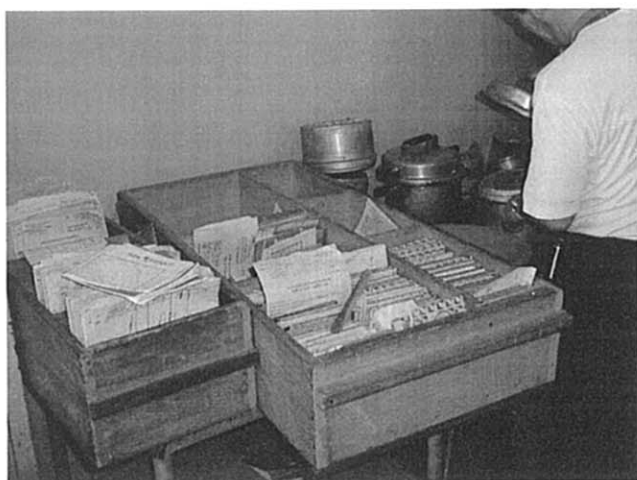


写真-9 Mbaiki県病院小児科の乳幼児記録
台帳により、乳幼児の体重や健康状態が記録されている。



写真-10 Mbaiki県病院の薬局
住民に販売している。比較的薬剤は整理され、在庫もある。



写真-11 Sibut県病院の臨床検査室
公共配電および水道はないため、検査は太陽光により顕微鏡検査を行い、水は施設内の井戸より調達している。



写真-12 Sibut県病院で使用している顕微鏡
電気・ミラー供用型であるが電気がほとんどないため、ミラーのみで検査している。

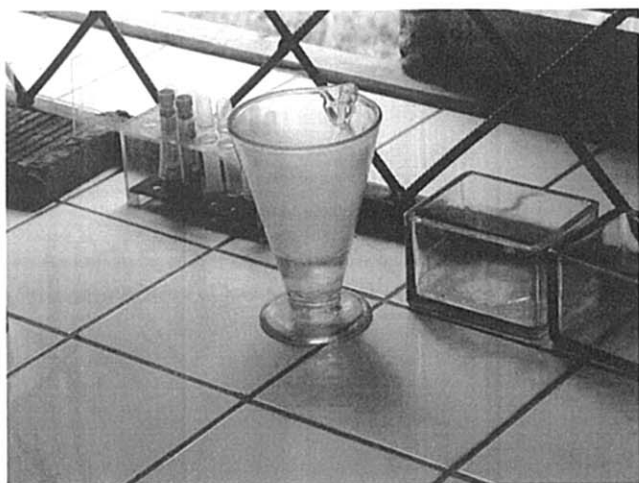


写真-13 Sibut県病院での臨床検査で使用しているガラスコップ
主に結核塗抹検査等の痰検査に使用している。

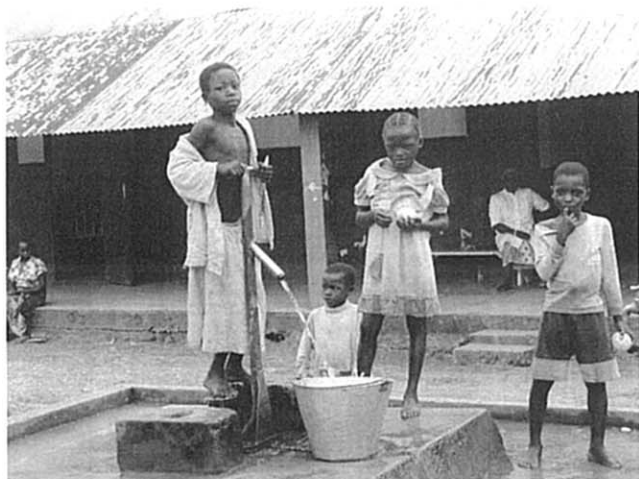


写真-14 Sibut県病院の施設内にある井戸
病院全体をカバーしており、近所の住民も利用している。



写真-15 日本政府のマルチバイ協力で調達されたオートバイ
啓蒙活動等に使用されている。運営管理状況は良い。

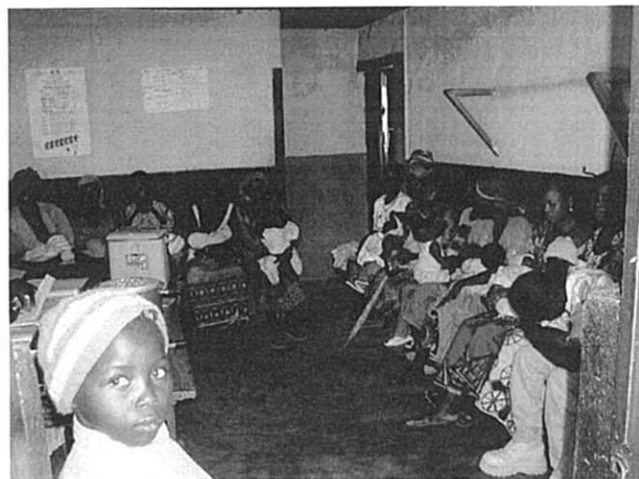


写真-16 Boaur県病院で乳幼児の健康診断を待つ親子

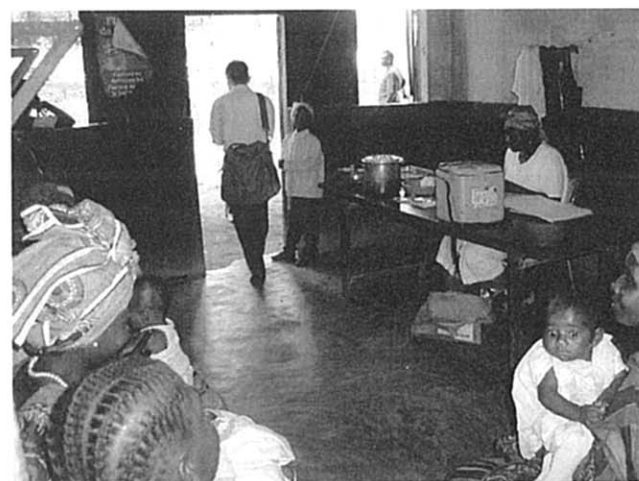


写真-17 Boaur県病院で実施されている予防接種

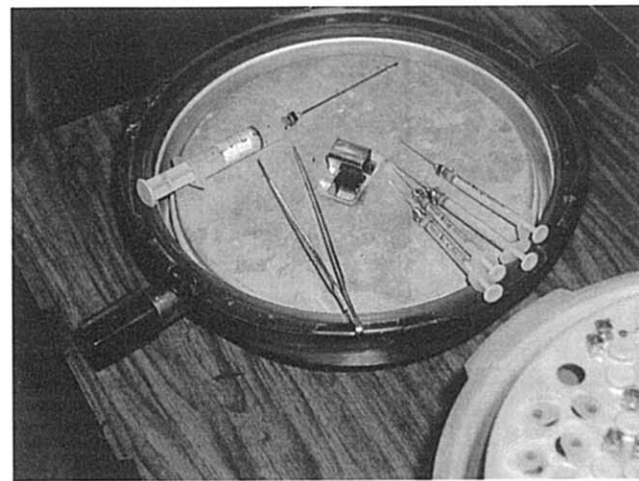


写真-18 予防接種で使用されている注射器
感熱滅菌器により消毒されている。